

**事業名:中国における医療人材育成生涯教育研修事業**

**実施主体:東京大学医学部附属病院**

**対象国:中華人民共和国**

**対象医療技術:①②③④悪性疾患(食道がん・胃がん・肝臓がん・子宮がん)・糖尿病・予防医学・老年病学・循環器疾患・脳神経外科疾患等に関する治療と予防医療技術**

#### 事業の背景

生活習慣の欧米化に伴い、中国では悪性疾患や生活習慣病が急増している。2020年中国で悪性腫瘍による新規発症は457万人(世界の23.7%)、死亡は300万人(世界の30%)、中国の悪性腫瘍の有病率・死亡率ともに世界トップである。男性の悪性腫瘍新規発症は胃がん33万人(がん全体の13.4%)、大腸がん32万人(12.9%)、肝臓がん30万人(12.2%)、食道がん22万人(9%)に対し、死亡は肝臓がん29万人(15.8%)、胃がん26万人(14.1%)、食道がん21万人(11.4%)、大腸がん16万人(9.1%)である。一方、中国成人糖尿病人口は1.3億人で、世界トップである。人生100年時代の到来が迫る中、有効な疾患の発症予防・進展抑制の対策法がますます求められる。中国からの要請を受け、世界的高水準にある日本の医療を中国に展開し国際貢献を目指す。

#### 事業の目的

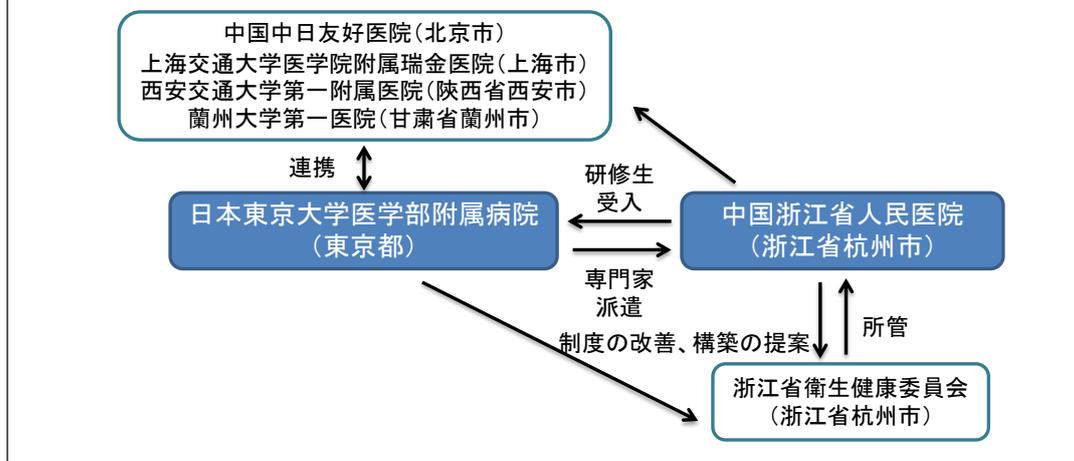
中国において急増している悪性疾患及び生活習慣病の発症予防・進展抑制のため、中国からの要請を受け、各種悪性疾患や生活習慣病の治療・予防医療技術等に関するオンライン研修の開催を通し、課題となっている中国の悪性疾患の治療成績・公衆衛生水準の向上、生活習慣病チーム医療普及の促進、疾患の早期発見・早期治療・中国国民健康寿命の延伸への国際貢献を目指す。

1

事業の背景について、生活習慣の欧米化に伴い、中国では悪性疾患や生活習慣病が急増しています。2020年中国で悪性腫瘍による新規発症は457万人で、世界の23.7%を占め、死亡は300万人で世界の30%を占めています。中国の悪性腫瘍の有病率・死亡率ともに世界トップであり、男性の悪性腫瘍新規発症は胃がん33万人でがん全体の13.4%を占め、大腸がん32万人で12.9%を占め、肝臓がん30万人で12.2%を占め、食道がん22万人で9%を占めているのに対し、死亡は肝臓がん29万人で15.8%を占め、胃がん26万人で14.1%を占め、食道がん21万人で11.4%を占め、大腸がん16万人で9.1%を占めています。一方、中国成人糖尿病人口は1.3億人で、世界トップであります。人生100年時代の到来が迫る中、有効な疾患の発症予防・進展抑制の対策法がますます求められます。中国からの要請を受け、世界的高水準にある日本の医療を中国に展開し国際貢献を目指します。

事業の目的について、中国において急増している悪性疾患及び生活習慣病の発症予防・進展抑制のため、中国からの要請を受け、各種悪性疾患や生活習慣病の治療・予防医療技術等に関するオンライン研修の開催を通し、課題となっている中国の悪性疾患の治療成績・公衆衛生水準の向上、生活習慣病チーム医療普及の促進、疾患の早期発見・早期治療・中国国民健康寿命の延伸への国際貢献を目指します。

## 実施体制



## 研修目標

連携協定を締結した中国(北京・上海・杭州・西安・蘭州)の5つの連携病院からの要請を受け、悪性疾患(胃がん・食道がん・肝臓がん・子宮がん)や生活習慣病(糖尿病)等の治療と予防に関するオンライン研修を通して、中国の悪性疾患の治療成績の向上・疾病の発症予防や進展抑制・中国における医療人材育成の生涯教育に貢献することを目標としている。

2

実施体制と研修目標について、東大病院と連携協定を締結した中国中日友好医院・上海交通大学医学院附属中山医院・西安交通大学第一附属医院・蘭州大学第一医院・浙江省人民医院の5つの連携病院からの要請を受け、胃がん・食道がん・肝臓がん・子宮がん等の悪性疾患および糖尿病や生活習慣病等の治療と予防に関するオンライン研修を通して、中国の悪性疾患の治療成績の向上・疾病の発症予防や進展抑制・中国における医療人材育成の生涯教育に貢献することを目標としています。

## 1年間の事業内容

令和4年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
<b>研修内容</b>		研修準備	研修準備	研修準備	研修準備	研修準備	研修準備	研修準備	上海交通大学医学院附属瑞金医院	上海交通大学医学院附属瑞金医院
<b>日本人専門家によるオンライン研修 期間・対象機関・テーマ・参加者数</b>				8/27 西安交通大学第一附属医院	9/5 浙江省人民医院	中日友好医院と関連病院 10/21 臨床研究とトランスレーショナルリサーチ 参加者 1,073名		12/8 蘭州大学第一医院  糖尿病管理 参加者 56名	1/6肝臓がん参加者 14名 1/7脳神経外科参加者 16名 1/10老年病学参加者 41名 1/12院内物流参加者 14名 1/18子宮がん参加者 7名 1/31内視鏡参加者 7名	2/1医療機器管理参加者 14名 2/2資産管理参加者 13名  2/3疼痛管理参加者 10名 2/6集中治療参加者 19名 2/6循環器参加者 19名

8月27日に西安交通大学第一附属医院と予防医学について研修を実施し、78名の現地医療従事者が参加されました。浙江省人民医院と9月5日に予防医学について研修を実施し、26名の現地医療従事者が参加され、1月10日に老年病学について研修を実施し、41名の現地医療従事者が参加されました。

中日友好医院との間、10月21日に臨床研究とトランスレーショナルリサーチについて研修を実施し、1,073名の現地医療従事者が参加され、10月28日に肝移植について研修を実施し、21,080名の現地医療従事者が参加され、10月29日に食道がんと胃がんについて研修を実施し、8,406名の現地医療従事者が参加されました。

12月8日に蘭州大学第一医院と糖尿病管理について研修を実施し、56名の現地医療従事者が参加されました。上海交通大学医学院附属瑞金医院との間、1月6日に肝臓がんについて研修を実施し、14名の現地医療従事者が参加され、1月7日に脳神経外科疾患について研修を実施し、16名の現地医療従事者が参加され、1月12日に院内物流について研修を実施し、14名の現地医療従事者が参加され、1月18日に子宮がんについて研修を実施し、7名の現地医療従事者が参加され、1月31日に内視鏡について研修を実施し、7名の現地医療従事者が参加され、2月1日に医療機器管理について研修を実施し、14名の現地医療従事者が参加され、2月2日に資産管理について研修を実施し、13名の現地医療従事者が参加され、2月3日に疼痛管理について研修を実施し、10名の現地医療従事者が参加され、2月6日に集中治療と循環器疾患について研修を実施し、それぞれ19名の現地医療従事者が参加されました。

## オンライン研修の写真とアジェンダ

8/27 西安交通大学第一附属医院 予防医学



10/21 中日友好医院 臨床研究とTR

## 中日研究型病房学术研讨会

2022年10月21日 08:30-11:40

中日友好医院综合楼第二会议室

主办单位

中日友好医院 东京大学医院

开幕式 & 致辞			
时间	领导与嘉宾致辞	讲者	主持人
08:30-08:50	中日友好医院	曹彬 副院长	中日友好医院 科技中心主任 GCP 中心主任 刘丽宏 教授
	日本国际协力机构 (JICA) 中国事务所	桜井知子 所长助理	
	北京市卫健委科教处	王冯彬 教授	
学术专题报告			
时间	内容	讲者	主持人
08:50-09:30	推进日本临床研究的动力 东大医院临床研究推进中心所做的努力	东京大学医院 临床研究推进中心主任 森丰隆志 教授	中日友好医院 科技中心 张军跃 副主任
09:30-10:10	中日友好医院科研及成果转化的发展战略考量	中日友好医院 科技中心主任、GCP 中心主任 刘丽宏 教授	
10:10-10:50	东京大学医院临床转化中心运营模型及其成果	东京大学医院 临床转化中心副主任 小栗岳 教授	
10:50-11:30	基于大数据的真实世界研究 转化医学大科学基础设施研究型病房实践	上海交通大学医学院 附属瑞金医院 学科规划与大数据管理处处长 林靖生 教授	
11:30-11:40	会议总结	中日友好医院 科技中心主任、GCP 中心主任 刘丽宏 教授	

9/5 浙江省人民医院 予防医学



8月27日に西安交通大学第一附属医院との間実施した予防医学に関するオンライン研修の様子です。

9月5日に浙江省人民医院との間実施した予防医学と健康管理に関するオンライン研修の写真です。

10月21日に中日友好医院との間実施した臨床研究とトランスレーショナルリサーチに関する研修のアジェンダです。

## 今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	①オンライン研修 開催数:5回(5テーマ) 参加者数:1回で100名、 5回で合計500名  ②訪問研修 開催数:2回 参加者数:35名	①研修で紹介された5つ の治療と予防に関する 医療技術は3,400ケース に実践	①研修で紹介された 医療技術が学会ガイド ライン導入、中国の 保健指標である各疾患 に関する治療成績/ 公衆衛生水準の向上・ 中国国民健康寿命の 延伸に貢献
実施後の結果	①オンライン研修 開催数:17回(19テーマ) 参加者数:78名、26名、 1,073名、21,080名、 8,406名、56名、14名、 16名、41名、14名、7名、 7名、14名、13名、10名、 19名、19名 合計30,893名 ②訪問研修開催0回	①研修で紹介された16 の予防と治療に関する 医療技術は144,500ケー スに実践 研修で紹介された3つの 院内管理に関する技術 は358,000ケースに実践 合計502,500ケースに実 践	①研修で紹介された 疾患の予防治療や院 内管理に関する医療 技術が、中国のガイド ライン導入、中国の保 健指標である疾患治 療成績/公衆衛生水 準の向上・疾病の発 症予防・進展抑制・中 国国民健康寿命の延 伸に貢献 <sup>5</sup>

アウトプット指標について、実施前の計画では、オンライン研修に関しては、5つのテーマで、計5回、1回で100名、5回で合計500名とし、また、訪問研修に関しては、2回で合計35名としましたが、実施後の結果では、オンライン研修に関しては、19テーマで、計17回、それぞれの参加者は78名、26名、1,073名、21,080名、8,406名、56名、14名、16名、41名、14名、7名、7名、14名、13名、10名、19名、19名で、合計30,893名でした。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、訪問研修は実施できませんでした。

アウトカム指標について、実施前の計画では、研修で紹介された5つの治療と予防に関する医療技術は3,400ケースに実践としましたが、実施後の結果では、研修で紹介された16の予防と治療に関する医療技術は144,500ケースに実践、また、研修で紹介された3つの院内管理に関する技術は358,000ケースに実践、合計502,500ケースに実践することとなりました。

インパクト指標について、実施前の計画では、研修で紹介された医療技術が学会ガイドライン導入、中国の保健指標である各疾患に関する治療成績/公衆衛生水準の向上・中国国民健康寿命の延伸に貢献としましたが、実施後の結果では、研修で紹介された疾患の予防治療や院内管理に関する医療技術が、中国のガイドライン導入、中国の保健指標である疾患治療成績/公衆衛生水準の向上・疾病の発症予防・進展抑制・中国国民健康寿命の延伸に貢献することとなりました。

## 今年度の対象国への事業インパクト

## 健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数 30,893名)

- オンライン研修参加者数

第1回(予防医学):	78名	西安交通大学第一附属
第2回(予防医学):	26名	浙江省人民医院①
第3回(臨床研究・TR):	1,073名	中日友好医院①と関連病院
第4回(肝移植):	21,080名	中日友好医院②と関連病院
第5回(食道癌・胃癌):	8,406名	中日友好医院③と関連病院
第6回(糖尿病):	56名	蘭州大学第一医院
第7回(肝臓がん):	14名	上海交通大学医学院附属瑞金医院①
第8回(脳神経外科治療):	16名	上海交通大学医学院附属瑞金医院②
第9回(老年病学):	41名	浙江省人民医院②
第10回(院内物流):	14名	上海交通大学医学院附属瑞金医院③
第11回(子宮がん):	7名	上海交通大学医学院附属瑞金医院④
第12回(内視鏡治療):	7名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑤
第13回(医療機器管理):	14名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑥
第14回(資産管理):	13名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑦
第15回(疼痛管理):	10名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑧
第16回(集中治療):	19名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑨
第17回(循環器疾患治療):	19名	上海交通大学医学院附属瑞金医院⑩

6

事業で育成した保健医療従事者は延べ 30,893 名でした。具体的なオンライン研修参加者数は、それぞれ、第 1 回の予防医学は 78 名、第 2 回の予防医学は 26 名、第 3 回の臨床研究とトランスレーショナルリサーチは 1,073 名、第 4 回の肝移植は 21,080 名、第 5 回の食道がんと胃がんの治療は 8,406 名、第 6 回の糖尿病管理は 56 名、第 7 回の肝臓がんは 14 名、第 8 回の脳神経外科治療は 16 名、第 9 回の老年病学と睡眠時無呼吸症候群の治療は 41 名、第 10 回の院内物流は 14 名、第 11 回の子宮がん治療は 7 名、第 12 回の内視鏡治療は 7 名、第 13 回の医療機器管理は 14 名、第 14 回の資産管理は 13 名、第 15 回の疼痛管理は 10 名、第 16 回の集中治療は 19 名、第 17 回の循環器疾患治療は 19 名でした。

**これまでの成果**

連携協定を締結した中国の5つの連携病院(北京・上海・杭州・西安・蘭州)からの要請を受け、19のテーマにわたり、計17回オンライン研修を実施し、延べ30,893名の保健医療従事者が研修に参加

研修で紹介された日本の胃がん・食道がん・肝臓がん・子宮がんの治療と予防に関する医療技術は中国の悪性疾患治療成績の向上に貢献

研修で紹介された日本の糖尿病チーム医療総合管理・予防医学の経験・循環器疾患・老年病学・脳神経外科疾患の治療と予防に関する医療技術は中国の各疾患の発症予防・進展抑制に貢献

研修で紹介された日本の院内物流・医療機器管理・資産管理に関する院内管理技術は中国の病院管理の効率化に貢献

中国の学会やガイドラインの導入、公衆衛生水準の向上、中国国民の健康寿命の延伸、中国医療人材育成生涯教育に貢献

**今後の課題**

今後、中国から要請のある他の疾患(肺がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん・腎臓疾患・血液疾患・アレルギーリウマチ疾患・感染症・小児疾患・眼科疾患・皮膚科疾患・耳鼻咽喉科疾患・整形外科疾患・形成外科疾患等)の治療と予防に関するオンラインおよび実地研修を実施予定

他の中国の医療機関と連携協定を締結し、より多くの中国医療機関と連携を取りながら、現地が必要としている中国医療人材育成生涯教育を展開予定

7

これまでの成果について、連携協定を締結した中国の5つの連携病院からの要請を受け、19のテーマにわたり、計17回オンライン研修を実施し、延べ30,893名の保健医療従事者が研修に参加されました。研修で紹介された日本の胃がん・食道がん・肝臓がん・子宮がんの治療と予防に関する医療技術は中国の悪性疾患治療成績の向上に貢献することが期待されます。また、研修で紹介された日本の糖尿病チーム医療総合管理・予防医学の経験・循環器疾患・老年病学・脳神経外科疾患の治療と予防に関する医療技術は中国の各疾患の発症予防・進展抑制に貢献することが期待されます。さらに、研修で紹介された日本の院内物流・医療機器管理・資産管理に関する院内管理技術は中国の病院管理の効率化に貢献し、中国の学会やガイドラインの導入、公衆衛生水準の向上、中国国民の健康寿命の延伸、中国医療人材育成生涯教育に貢献することを期待されます。

今後の課題について、今後、中国から要請のある他の疾患についても、肺がん・大腸がん・膵臓がん・乳がん・腎臓疾患・血液疾患・アレルギーリウマチ疾患・感染症・小児疾患・眼科疾患・皮膚科疾患・耳鼻咽喉科疾患・整形外科疾患・形成外科疾患等の治療と予防に関するオンラインおよび実地研修を実施する予定です。また、他の中国の医療機関と連携協定を締結し、より多くの中国医療機関と連携を取りながら、現地が必要としている中国医療人材育成生涯教育を展開する予定です。